

「マデュロ」は50代・60代からの次世代シニア富裕層向けライフスタイル誌です

MADURO

ジジイになったら
孫と環境のことまで考えて
投資せなアカンでしょ

おジジイ
今日も
いい天気だね

君が大きくなったらこの
太陽に感謝するさ

太陽光発電

表面利回り
15%

孫まで遺す エネルギー投資

孫のため、 環境のために 今、できること

株式会社エコスタイル
代表取締役社長

木下 公貴



エコスタイルは、我々プロの視点でこれなら買いたいと思う製品とサービスを

我々が買いたい価格でお客様にご提供することで、

家庭用から産業用、メガソーラーまであらゆる太陽光発電システムの

施工実績を重ねさせていただき、**太陽光発電の普及**に尽力するとともに、

私どもも成長させていただきました。

国の政策の中で、再生可能エネルギーは

この日本においても普及してきたところですが、

誰もが**安心安全と自信をもっていえる再生可能エネルギー**をさらに普及させることは、

子どもたち、そして孫たち**次世代への責任**と認識し、

その責任を果たすためにエネルギーの選択が必要になってきます。

今後とも、お客様のエネルギービジネスを支えるとともに

将来にわたって**持続可能な社会を実現**するために、

エコスタイルは再生可能エネルギーによる地域電力インフラのイノベーションに挑戦してまいります。



<http://www.taiyo-co.jp/> エコの輪

株式会社エコスタイル
東京都千代田区丸の内1-4-1丸の内永楽ビルディング20F
0120-640-715 (年末年始を除く、10:00~19:00)

太陽光発電セミナーを随時実施!

発電事業だけでなく、環境貢献に取り組みつつ投資をしたい、
地域経済を活性化しながら投資したいなど、
やんちゃ的スマート投資法を知りたい方は
ぜひ参加してみてください。詳細はホームページにて。

太陽光発電

孫までで遺す
エネルギー投資

さて、ありきたりな投資ではなく、なかに琴線に触れぬやんじー諸氏のために、今回はスマートでロハスな事業提案をおひとつ。

今や、**再生可能エネルギーの活用**が日本の死活問題というご存じのとおりです。原発問題うんぬんもあり、日本のエネルギー自給率は今やわずか6%。つまり94%を輸入に頼る状況でして、エネルギー消費量が世界有数の国としては由々しき事態でしょう。しかし、哀しいかな石油や

天然ガス等の天然資源に乏しい我が国。そこで自然の力を効率的に電気に換える再生可能エネルギーへの期待が高まっているワケです。この課題はエネルギー自給率に留まらず、CO₂削減にも寄与し、かつ経済活性化にもつながる**国家プロジェクト**といえましょう。ここで国が推す、太陽光・水力・風力・地熱・バイオマスの5大再生可能エネルギーの中で**事業提案としてのイチオシ**が、何を隠そう太陽光発電でございます。

ただでなく、水車や風車等のほかの自然エネルギーとも一線を画し、大がかりな設備投資が不要のスマートエネルギー。そう、スマートライフを自負される諸兄のなかには、既にソーラーパネルを屋根に施し、電気を「買う」から自分で「つくる」を実践されている方も多いでしょうが、さらにこれから

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」では、発電量が10kW以上なら20年に渡り電気を固定価格で買い取ることを国が保証しているのです。電力は生活になくてはならない絶対的価値のあるもので、経済の不況による影響も少ないはず。しかも、パネルを設置するだけで、朝日が昇り続ける限り**永続的に利益を生んでくれる**、それが今回の事業提案の全貌です。まさしく孫世代にまで残せる投資といえましょう。

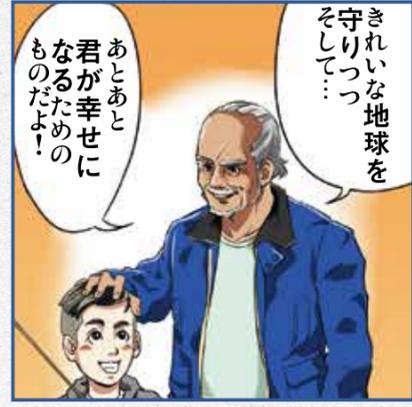
「売る」時代なのです。とはいえ「売る」となると採算性が問題。でもご安心ください。いまや国策の電力小売り自由化、その土台とな

「個は全にして全は個」とはよくいったもの。一人一人がエコ志向になれば、いっしょにより大きな単位のエコにつながります。どうせ儲けるなら、どうせ孫に遺すのなら、そんな究極のロハスで優しい術を検討されてみてはいかがでしょうか。

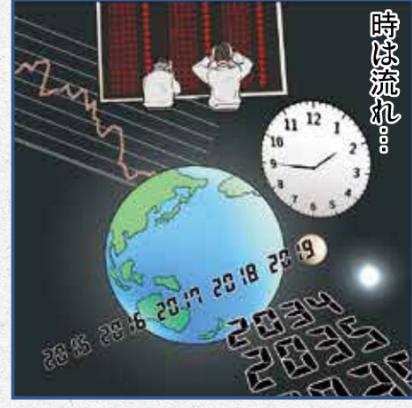
環境に優しいジジイの
スマート投資法



POINT 1
ローンで買うことも可能。メンテナンスは業社にお任せ (各種保証もあり)。



POINT 2
再生可能エネルギーを利用した投資法なので永続的であり環境に優しい。



POINT 3
太陽光が収入源になるので経済不況などの影響を受けにくい。



POINT 4
20年間にわたって確定利益を享受できるので孫にまで残すことができる。相続対策にもOK。

太陽光がある限り 収益を得ることができる
表面利回り15%超なら単純計算で約7年後に元を取れるので、その後は純利益になる。20年経過後も、売電価格は未定ながら発電し続ける限り収入を得ることも可能。また要件を満たせば期間限定の減税措置を受けられる。

太陽光発電投資の仕組み

遊休地を有効活用し、パネルとセットで購入。坪単価が安く太陽光発電に向く厳選された広大な土地をパネル設置料込みの価格で斡旋 (整地代、電力負担金、土地売買契約諸費用等は別途)。多くは設備・電力の申請済みなので楽ちん (土地と太陽光発電は書類上別に契約)。



国が電力を固定価格で買い取ってくれる
購入した自分の土地で発電した電気の全量を電力会社に買い取ってもらう。この際の価格は20年間固定される旨を国が保証している (固定価格買取制度 ※発電量10kW以上の場合)。※経済産業省資源エネルギー庁のHPを参照

20年間で約15%の表面利回りを確保
投資シミュレーション

現金1000万円の初期投資で土地付き太陽光発電を買った場合

20年目までの1年間の発電予想収入
27円/kWh × 5万4450kWh = 約147万円/年間 (税抜)
(決定売電価格) × (年間予想発電量)

147万円 ÷ 1000万円 × 100 = 14.7
※諸経費を含まない単純利回り

20年間の売電収入
147万円 × 20年 = 2940万円 (税抜)
※法定売電価格は20年間、原則として固定

20年目の売電収入による総利益
2940万円 - 1000万円 = 1940万円 (税抜)
※20年目経過後も一定の収入も可

太陽光発電投資が今注目されている理由

法律により電力を固定価格で買い取ってくれる
再生可能エネルギーの固定価格買取制度により、発電量10kW以上の産業用太陽光発電はその全量が固定買取価格で20年間にわたり買い取りが保証されています (10kW未満の住宅用は余剰分のみ10年間)。買取価格は毎年度見直されますが、平成27年度分は27円 (税抜き) / kWhで20年間買い取ってもらえます。

経済不況による収益の影響を受けない
一般的に事業収入や投資収益は経済環境に影響を受けるので将来の保証はありません。不動産賃貸ですら、建物老朽化による賃料減や空室リスクを伴うもの。単価 (買取価格) が保証され、しかも売る品は生活に絶対欠かせない電力。こんな安定した商売なんてなかなかないでしょう。

グリーン投資減税の適用も可能
一般的に事業用資産の取得価額は所定期間に按分して費用化します (減価償却)。太陽光発電の導入費用等もその対象ですが、通常償却に加えて基準取得価額の30%が特別償却として認められています (グリーン投資減税)。適用できるのは、法人が青色申告書提出の個人。取得の期限は来年の3月末までなのでお急ぎあれ。

メーカーの保証や各種保険が完備されている
いくら国が買取価格を保証しても、肝心の電力発電ができなくなったらおしまい。そこは、設置装置が大手メーカー製で、10年間保証 (出力保証は25年間) 付きなので安心。しかも、火災・落雷等の自然災害 (地震等を除く) や爆発・盗難等による万一の場合の損害を補償する保険まで完備されているのです。

設置からメンテナンスまで業社任せ
設備設置や電力発電に関わる国への面倒な申請手続きからパネル装置等の設置まで業者にお任せ。加えて、漏電・雨漏り・パネルの飛散等に対する施工補償が最長20年間ついている上、定期的な点検も最長20年間無料です。※洗浄、草刈り等は別途必要です。